

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月29日

2次評価日（課長等） 31年5月31日

1 事業名	予防接種事業	コード	42201
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 上原 幸代
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	保健・医療の充実	施策	予防対策の推進
		予算科目	予防事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	予防接種法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	各種定期予防接種（四種混合、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合、BCG、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、子宮頸がん、B型肝炎、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌）事業の実施。	
目的	対象者	市民
	意図	市民の感染症の発生の予防及びまん延防止を図り、健康な生活を送れるようにする。

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
予防接種法に基づく定期予防接種を次のように実施した。		
○実施状況		
①四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ） 1期初回3回 実施者：延べ896人、追加 実施者：328人		
②二種混合（ジフテリア・破傷風）2期 実施者：475人		
③不活化ポリオ（未接種者のみ） 追加 実施者：3人		
④麻しん風しん混合 1期 実施者：327人、2期 実施者：343人		
⑤BCG 実施者：297人		
⑥日本脳炎 1期初回2回 実施者：延べ691人、追加 実施者：350人、2期 実施者：357人、特例 実施者：371人		
⑦子宮頸がんワクチン（3回）…積極的勧奨差し控え中 実施者：延べ15人		
⑧ヒブワクチン（4回） 実施者：延べ1,253人		
⑨小児用肺炎球菌ワクチン（4回） 実施者：延べ1,251人		
⑩水痘（2回） 実施者：延べ608人		
⑪B型肝炎ワクチン（3回） 実施者：延べ937人		
⑫高齢者インフルエンザ 65歳以上対象者：16,714人 実施者：8,774人		
⑬高齢者用肺炎球菌ワクチン 年度年齢対象者：3,500人 実施者：1,459人		
○実施場所		
・保健センター（各月5回 計60回）…①四種混合、⑤BCG、⑥日本脳炎（第1期）、③不活化ポリオ		
・指定医療機関（通年）…④麻しん風しん混合、⑥日本脳炎（特例）、⑦子宮頸がんワクチン、⑧ヒブ、⑨小児用肺炎球菌、⑩水痘、⑪B型肝炎、⑬高齢者用肺炎球菌、⑫高齢者インフルエンザ（期間限定）		
・市内小学校（各校2回 計14回）…②二種混合、⑥日本脳炎（第2期）		
○定期予防接種県外接種者給付金		
・給付実績 5人（4ワクチン22回）		
内訳：四種混合 1回、ヒブ 7回、小児用肺炎球菌 7回、B型肝炎 7回		
前年度の課題への対応	健康管理システムで接種履歴を職員2名で確認するとともに、記録簿を作成し、不要な接種をすることのないよう体制を整えた。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	接種者			単位	人
実績値	18,762	18,589	18,757		
*指標の説明	接種者数は、定期接種の合計（H30～県外接種者を含む）				
② 成果指標（指標名）	対象者に対する接種者の割合（接種率）			単位	%
目標値	52.0	52.0	50.6	52.5	
実績値	52.0	50.6	52.5		
達成度	100.0%	97.3%	103.8%		
*指標の説明	高齢者インフルエンザの接種率				
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	105,359,862	101,731,636	102,194,037	135,228,000
経常経費	105,359,862	101,722,676	101,987,104	105,619,000
臨時的経費	0	8,960	206,933	29,609,000
* 臨時的経費の説明	H29: B型肝炎ワクチン予防接種、H30～: 県外定期接種、H31: 風しんの追加的対策			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	9,920,000	9,920,000	9,920,000	9,920,000
正規職員の人数(人)	1.24	1.24	1.24	1.24
③ 合計コスト(①+②)	115,279,862	111,651,636	112,114,037	145,148,000
前年度比		96.9%	100.4%	129.5%
財源				
一般財源	115,253,762	111,625,536	112,087,862	145,121,825
内訳				
特定財源	26,100	26,100	26,175	26,175
* 特定財源の説明	予防接種健康被害対策事業負担金			
④ 活動一単位あたりコスト	6,144	6,006	5,966	
前年度比		97.7%	99.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
予防接種事故賠償補償保険掛金	件数	1	1	1	1
	金額	97,255	96,466	95,450	96,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	97,255	96,466	95,450	96,000
	割合	0.09%	0.09%	0.09%	0.07%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	103.8%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	103.8%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 小学校での集団接種（日本脳炎、二種混合）を実施しているが、保護者が同伴しない集団接種では接種前後の児童の安全の確保について課題となっている。	
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 教育委員会、医師会等と協議した結果、医療機関での個別接種に移行する。	
改善方法		
改善開始時期	平成31年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---